

目 次

2012 年度政治学演習・経済学演習・国際政治経済学演習登録日程

I. 政治学演習・経済学演習・国際政治経済学演習の登録

1. 政治学演習・経済学演習・国際政治経済学演習とは
2. 応募資格
3. 登録決定までの流れ
4. 単位・成績の扱い
5. 応募の際の前提条件
6. 申込受付
7. 選考・結果発表
8. オリエンテーション

II. 政治学演習・経済学演習・国際政治経済学演習科目一覧

1. 政治学科
2. 経済学科
3. 国際政治経済学科

シラバス（講義内容）

<http://www.waseda-pse.jp/pse/student/entry/post-3.html>

（政治経済学部 HP 内「演習（ゼミ）」ページ）

昨年度（2011 年度政治学演習・経済学演習・国際政治経済学演習）の 選考合格者数一覧（参考）

総定員数	対象学生数 A [実質学年 2 年生]	第 1 回選考 (68 ゼミ)		第 1 回選考 不合格者・ 未提出者 D	第 2 回選考 (44 ゼミ)		第 2 回選考 不合格者・ 未提出者 G	第 3 回選考 (26 ゼミ)		最終合格 者数 J
		応募者数 B (応募率 B/A)	合格者数 C (合格率 C/B)		応募者数 E (応募率 E/D)	合格者数 F (合格率 F/E)		応募者数 H (応募率 H/G)	合格者数 I (合格率 I/H)	
1224 名	1,014 名	957 名 (94.4%)	634 名 (66.2%)	405 名	300 名 (74.1%)	171 名 (57.0%)	231 名	112 名 (48.5%)	84 名 (75.0%)	889 名

※対象学生（A）以外は、3 年生以上の学生も数に含まれます

※各回選考の不合格者・未提出者（D, G）については、不合格者のみ 3 年生以上の学生も数に含まれます

2012 年度政治学演習・経済学演習・国際政治経済学演習登録日程

行事	対象	日付	時間	場所
演習要項公開開始	実質学年2年生以上 (2011年度演習登録希望者)	2011年 10月26日		学部ホームページ
オリエンテーション	実質学年2年生以上 (2012年度演習登録希望者)	10月27日(木) ～11月2日(水) ※詳細は本要項内 「8. 政治学演習・経済学演習・国際政治経済学演習オリエンテーション」参照	6・7限	6号館311教室
第1回選考	選考日程発表	実質学年2年生以上	10月26日(水)	9:00 9号館前掲示板 学部ホームページ
	申込受付	実質学年2年生以上	10月27日(木)～ 11月8日(火)	27日10:00から 8日17:00まで Waseda-net ポータル
	選考	第1回選考申込者	11月10日(木) ～16日(水)	各演習の選考日時・場所は9号館前掲示板 で連絡
	結果発表	第1回選考申込者	選考日の翌日より随時発表 9号館中庭掲示板	
第2回選考	選考日程発表	第1回選考不合格者 第1回選考未提出者	11月24日(木)	9:00 9号館前掲示板 学部ホームページ
	申込受付	第1回選考不合格者 第1回選考未提出者	11月29日(火) ～12月5日(月)	29日10:00から 5日17:00まで Waseda-net ポータル
	選考	第2回選考申込者	12月7日(水) ～13日(火)	各演習の選考日時・場所は9号館前掲示板 で連絡
	結果発表	第2回選考申込者	選考日の翌日より随時発表 9号館前掲示板	
第3回選考	選考日程発表	第1・2回選考不合格者 第1・2回選考未提出者 留学帰国者・学士入学者	2011年 3月中旬	未定 9号館前掲示板
	申込受付	第1・2回選考不合格者 第1・2回選考未提出者 留学帰国者・学士入学者	3月中～下旬	未定 Waseda-net ポータル
	選考	第3回選考申込者	3月下旬	各演習の選考日時・場所は9号館前掲示板 で連絡
	結果発表	第3回選考申込者	選考日の翌日より随時発表 9号館前掲示板	

- ・ 指定された時間以外には、いかなる理由があっても受付できませんので、余裕をもって手続きを完了してください。
- ・ 演習登録上不備のある場合はメールや電話によって呼び出すことがあります。また、上記日程に変更が生じた場合も掲示によってお知らせしますので、学部ホームページ・9号館前掲示板に注意してください。
- ・ 第3回選考の日程、登録方法については、3月中旬に学部ホームページ、9号館前掲示板で確認してください。

I. 政治学演習・経済学演習・国際政治経済学演習演習の登録

1. 政治学演習・経済学演習・国際政治経済学演習とは

政治学演習・経済学演習・国際政治経済学演習は通称「ゼミ」と呼ばれ、定員上限18名という徹底した少人数教育で行っています。ゼミ合宿・海外での現地調査・他大学生とのゼミの交流・発表会などそれぞれのゼミごとに特色ある活動を行い、自主的に学びたいことを追求することができる科目です。また、2009年度より科目名称が『政治学演習α・経済学演習α・国際政治経済学演習α』、『政治学演習β・経済学演習β・国際政治経済学演習β』（『政治学演習・経済学演習・国際政治経済学演習β』は、『政治学演習α・経済学演習α・国際政治経済学演習α』が合格しないと履修できません）に変更となりました。

2. 応募資格

・履修学年2年生以上（1A10、1A09、1A08…）が『政治学演習α・経済学演習α・国際政治経済学演習α』を応募（2011年11月選考開始）できます。

・担当教員が他学科に開放するとした演習については、所属学科に関わらず、学科横断的に応募することができます（詳細は「4. 応募の際の前提条件」を参照のこと）。

ただし、演習に応募するには、指定された前提科目の単位を既に取得しているか、もしくは本年度に履修して単位を取得することが条件となります（前提科目の詳細は次ページを参照のこと）。

(注1) 2012年4月1日時点で指定された前提科目の単位を取得できない場合は選考に合格したとしても、合格は取り消しとなり、政治学演習α・経済学演習α・国際政治経済学演習αの履修はできません。（別の学科の前提条件を満たしていれば第3回選考で申請することは可能です。）

(注2) どの学科の演習を履修しても、卒業時に交付される学位は所属学科のものとなります。

(注3) 一度合格した学生は、以降の選考には応募できません。また、取り消しもできません。

(注4) 3年生以上で既に『政治学演習α・経済学演習α・国際政治経済学演習α』を履修している学生は、学年末成績で『政治学演習α・経済学演習α・国際政治経済学演習α』が不合格となった場合のみ第3回選考から応募可能となります。

(注5) 2011年9月に留学、休学より復学し、2012年4月1日に実質学年3年にあがる場合は、第1回選考からの通常の日程で応募してください。

(注6) 2012年4月に留学、休学より復学し、実質学年3年になる場合は、第3回選考にのみ応募することができます（既に第1・2回選考で締め切っている政治学演習α・経済学演習α・国際政治経済学演習αにも応募可能です）。

(注7) 2012年4月から1年間留学を予定している学生は、第1回選考から通常の日程で応募するか、帰国後の2013年3月の第3回選考に応募するか選択してください。詳細は事務所にお問い合わせください。

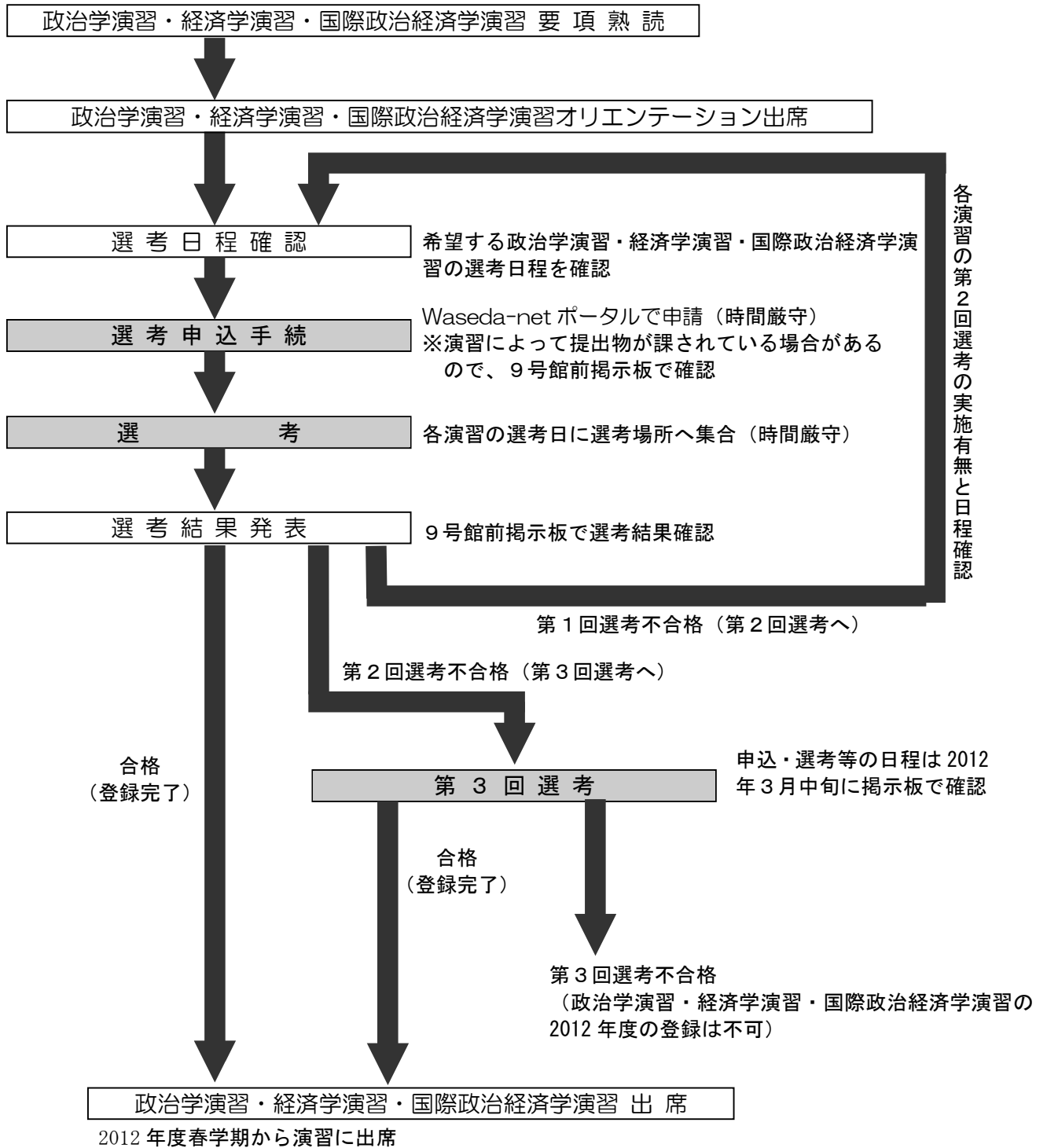
(注8) 2012年9月から留学を予定している学生は、第1回選考から通常の日程で応募してください。

(注9) 2012年4月に学士入試により入学する者は、第3回選考にのみ応募することができます（既に第1・2回選考で締め切っている政治学演習α・経済学演習α・国際政治経済学演習αにも応募可能です）。

(注10) 2012年4月から兵役により2年休学する学生は、第1回選考から通常の日程で選考に臨み、合格した場合は2年後の4月からの履修となります。または、復学時の3月に第3回選考に応募することができます。詳細は事務所にお問い合わせください。

(注11) 2012年4月から半期間留学する学生は、第1回選考から通常の日程で選考に臨み、合格した場合は2013年4月から履修することができます。2012年度秋学期からの履修はできません。

3. 登録決定までの流れ



4. 単位・成績の扱い

- 『政治学演習α・経済学演習α・国際政治経済学演習α』4単位、『政治学演習β・経済学演習β・国際政治経済学演習β』4単位となります。
- 選考に合格し、前提科目の単位を取得できた場合、翌年度科目登録次に『政治学演習α・経済学演習α・国際政治経済学演習α』4単位が自動登録されます。
- 3年終了時にはタームペーパー、および平常点で成績評価します。『政治学演習α・経済学演習α・国際政治経済学演習α』の成績が「合格（A+、A、B、Cのいずれか）」となった場合、翌年『政治学演習β・経済学演習β・国際政治経済学演習β』の演習が自動登録されます。「不可」となった場合は『政治学演習β・経済学演習β・国際政治経済学演習β』は履修できません。
- 『政治学演習α・経済学演習α・国際政治経済学演習α』が「合格」となった場合、『政治学演習β・経済学演習β・国際政治経済学演習β』履修の放棄または、担当教員の変更が可能です。ただし、担当教員の変更は、新4年生以上を募集する演習に限りますので注意してください。希望する場合は所定期間内に手続きを行ってください（詳細については学年末成績発表の際にお知らせします）。
- ダブルディグリープログラム（DDP）で国立台湾大学に1.5年間留学する場合のみ、留学前の半期に受講する『政治学演習α・経済学演習α・国際政治経済学演習α』を2単位として取り扱います。留学決定後、必ず事務所に報告してください。『政治学演習α・経済学演習α・国際政治経済学演習α』が合格した場合は、復学後に『政治学演習β・経済学演習β・国際政治経済学演習β』を4単位として履修することとなります。

5. 応募の際の前提条件

担当教員が希望する演習に限り、所属学科に関係なく政治学演習α・経済学演習α・国際政治経済学演習αに申込みことができます。ただし、下表のとおり政治学演習α・経済学演習α・国際政治経済学演習αの履修までに取得しておかなければならない前提科目があります。以下の科目の単位を2012年4月1日時点までに取得できない場合は、演習の履修はできませんので注意してください。

また、学科横断可能な演習の定員は原則として、12:3:3（所属学科12名、他学科3名ずつ）となりますので応募の際は注意してください。

対象	設置学科	前提科目
政治学科生	政治	「政治学基礎」、「政治学英語文献研究（基礎）A」、 「政治学英語文献研究（基礎）B」の3科目、計6単位
	経済	「経済学入門A」、「経済学入門B」の2科目、計4単位
	国際	「政治学基礎」、「政治学英語文献研究（基礎）A」、 「政治学英語文献研究（基礎）B」の3科目、計6単位
経済学科生	政治	「政治学基礎」1科目および「現代日本政治論」「現代デモクラシー論」「現代国際関係論（理論）」、「現代国際関係論（歴史）」、「現代国際関係論」（2008年度まで開講）のうちから1科目、計4単位
	経済	「経済学入門A」、「経済学入門B」の2科目、計4単位
	国際	「経済学入門A」、「経済学入門B」の2科目、計4単位
国際政経学科生	政治	「現代政治分析入門」、「現代政治理論入門」の2科目、計4単位
	経済	「ミクロ経済学入門」、「マクロ経済学入門」の2科目、計4単位
	国際	「現代政治分析入門」、「現代政治理論入門」、「ミクロ経済学入門」、 「マクロ経済学入門」の4科目、計8単位

7. 選考・結果発表

期間中に各演習担当教員が選考します。**選考には学生証を持参してください。**日程や場所、選考方法などの詳細は学部ホームページ・9号館前掲示板で発表します。また、選考結果は、選考日の翌日より随時9号館前掲示板で発表します。

8. オリエンテーション

政治学演習・経済学演習・国際政治経済学演習の登録にあたって、各演習の授業内容や授業方法などを理解するために、履修希望者を対象に**6号館311教室で政治学演習・経済学演習・国際政治経済学演習オリエンテーションを実施します。**オリエンテーションの詳細については、別掲示「オリエンテーションスケジュール開催期間 10月27日(木)～11月2日(火)」を参照してください。

※ただし、別掲示内に掲載されていない教員はオリエンテーションを実施しません。

Ⅱ. 政治学演習・経済学演習・国際政治経済学演習科目一覧

1. 政治学科

整理番号	漢字氏名	副題
101	縣 公一郎	公共政策研究
102	飯島 昇藏	リベラリズムとは何か？
103	梅森 直之	近代日本の政治思想
104	大浜 啓吉	公共政策と行政法
105	川岸 令和	日本国憲法の現在
106	河野 勝	現代日本政治の諸問題
107	小原 隆治	自治・分権を考える
108	佐藤 正志	公共性の思想史－近代啓蒙の批判的継承
109	高橋 恭子	映像ジャーナリズム研究 東日本大震災とメディア
110	田中 愛治	現代政治学の実証分析・計量分析
111	田中 孝彦	世界政治秩序の歴史的変容と現在
112	谷藤 悦史	世論・メディア政治・政治コミュニケーション研究
113	土屋 礼子	近代史におけるメディアとプロパガンダ、およびジャーナリズム
114	坪井 善明	東南アジアの政治と社会
115	仲内 英三	近代西欧政治社会の歴史
116	中村 英俊	国際政治の理論と現実－英国学派を中心に
117	日野 愛郎	メディアと選挙の実証分析
119	藤井 浩司	比較公共政策への接近
120	眞柄 秀子	世界各国の比較政治分析
121	谷澤 正嗣	現代リベラリズムとその批判
122	山本 武彦	安全保障と国際政治
123	吉野 孝	現代デモクラシーの政治過程
124	笹田 栄司	現代の司法

2. 経済学科

整理番号	漢字氏名	副題
201	荒木 一法	企業と家計の行動分析（応用ミクロ経済学）
202	有村 俊秀	環境経済学
203	石井 安憲	国際貿易と投資の経済学演習
204	稲葉 敏夫	経済分析における統計的方法の研究
205	上田 貴子	経済データ解析：－日本の所得分配－
206	牛丸 聡	わが国財政のあり方の検討
207	荻沼 隆	不完全情報とゲームの理論を中心としたミクロ経済学
208	小倉 義明	金融制度、規制、取引慣行の理論と実態
209	笠松 学	経済成長と所得分配
210	金子 昭彦	国際金融

211	川口 浩	日本経済の歴史的展開とその思想
212	古賀 勝次郎	自由主義の政治経済学研究
213	近藤 康之	応用計量経済学
214	西郷 浩	社会分析のための統計的手法
215	笹倉 和幸	上級マクロ経済学
216	清水 英彦	社会保障の理論的・実証的研究
217	白木 三秀	労働に関する国際比較研究
218	田中 久稔	理論経済学を学ぶための数学的・統計学的な手法の習得
219	永田 良	ミクロ経済学の行方を考える
220	中村 慎一郎	産業エコロジー Industrial Ecology
221	南部 宣行	近代イギリス社会経済史
222	野口 和也	経済分析と統計的方法
223	馬場 義久	わが国の財政システムに関する研究
224	藤森 頼明	資本理論の総合的研究－経済構造の現在と未来
225	船木 由喜彦	ゲーム理論と実験経済学
226	堀内 俊洋	企業、産業、経済、そしてドラッカー研究
227	松本 保美	経済分析のための基礎理論・手法の研究
228	村上 由紀子	労働と勤労者の生活に関する研究
229	本野 英一	アジア専制国家文明の理論的把握
230	若田部 昌澄	経済問題を解くための経済学

3. 国際政治経済学科

整理番号	漢字氏名	副題
301	秋葉 弘哉	開放マクロ経済学（国際金融論）
302	久保 慶一	現代世界の民族紛争と平和構築
303	小西 秀樹	公共選択の経済分析
304	斎藤 純一	近現代の政治理論
305	貞廣 彰	日本経済の現状分析と展望
306	清水 和巳	人間と社会の政治経済学
307	須賀 晃一	現代社会の政治経済分析－公共性の実現に向けて
308	鈴木 興太郎	厚生経済学と社会的選択の理論
309	唐 亮	現代中国の政治経済と外交戦略
310	遠矢 浩規	知的財産権・ソフトパワー・産業競争力の国際政治経済学－コンテンツとテクノロジーが変える国際関係－
311	内藤 巧	国際貿易理論
312	深川 由起子	現代東アジア経済研究：グローバル化と新興経済の諸問題
313	最上 敏樹	国際立憲主義の諸問題
314	山崎 眞次	マイノリティ・ナショナリズムの研究
315	若林 正文	台湾地域研究から近現代東アジアの問題群にアプローチする